

まちを結ぶ、人をつなぐ、多摩モノレールマガジン

2016



増刊号
vol.3

た ま も の

www.tama-monorail.co.jp

「安全・安心の取組2016」

お客様に安全・快適にご利用いただくために



ロングシート化の推進・完了

車内混雑の要因となっていたクロスシートをロングシートに変更し、車両中央部への移動がスムーズになりました。混雑時の乗降時間も短縮され、定時運行に役立っています。 ※完了：2016年12月末（予定）



●クロスシート車両



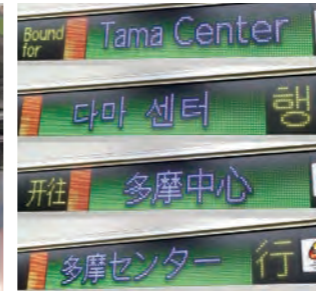
●ロングシート車両

表示装置の更新

表示装置にフルカラーLEDを採用し、文字と背景にグラデーションを付けるなど、色弱者の方にも見やすい表示となりました。また、多くのお客様に対応できるように案内表示は4か国語としました。



●正面行先表示



●車内案内表示器



●車両用表示器では日本初の取得となったCUD (カラーユニバーサルデザイン) マーク

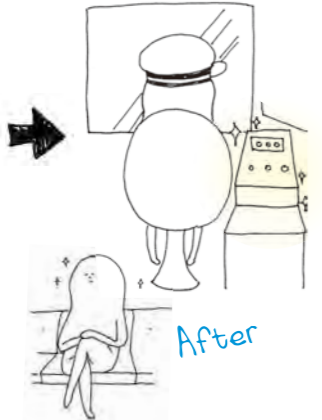
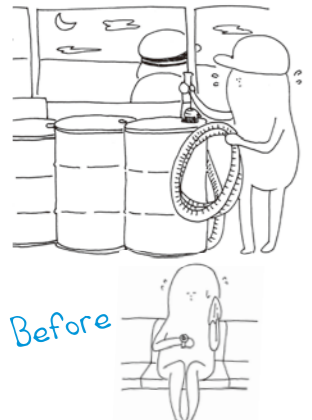


凍結防止剤散布装置の設置

降雪時の運行に大きく影響していた走行桁への圧雪や凍結防止のため、乗務員室に凍結防止剤散布装置を設置しました。運行中に散布が可能となり、空転・滑走が防止され乗り心地の改善に繋がります。

ドラム缶に入った凍結防止剤を客室に積み込んでいたため、終電後にしか作業ができなかった。

乗務員室に凍結防止剤が設置され、日中も散布が可能に!



降雪の影響で遅延が発生することも。

凍結防止剤散布装置の設置により遅延が改善された。

空調設備の増設

近年の気象変化などに伴い、車内環境にも影響が出ています。以下の対策によって車内温度の均等化を目指します。 ※完了：2019年（予定）

●夏期「ラインデリアの増設」

天井に設置されているラインデリア（送風機）を増設し、車内に均等に送風が可能となります。



●ラインデリア増設

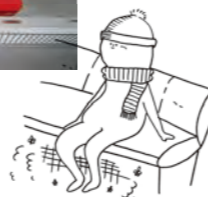


●冬期「座席下ヒーターの設置」

座席下に均等に設置したヒーターにより、どの位置に座っても暖かく、早朝の車内温度の上昇にも貢献します。



●ヒーター増設

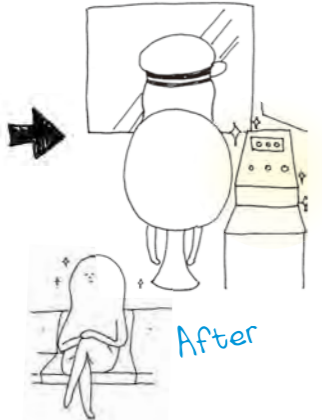
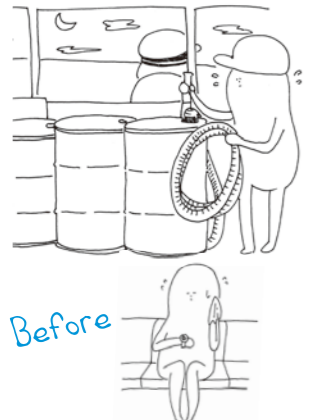


凍結防止剤散布装置の設置

降雪時の運行に大きく影響していた走行桁への圧雪や凍結防止のため、乗務員室に凍結防止剤散布装置を設置しました。運行中に散布が可能となり、空転・滑走が防止され乗り心地の改善に繋がります。

ドラム缶に入った凍結防止剤を客室に積み込んでいたため、終電後にしか作業ができなかった。

乗務員室に凍結防止剤が設置され、日中も散布が可能に!



降雪の影響で遅延が発生することも。

凍結防止剤散布装置の設置により遅延が改善された。

空調設備の増設

近年の気象変化などに伴い、車内環境にも影響が出ています。以下の対策によって車内温度の均等化を目指します。 ※完了：2019年（予定）

●夏期「ラインデリアの増設」

天井に設置されているラインデリア（送風機）を増設し、車内に均等に送風が可能となります。



●ラインデリア増設

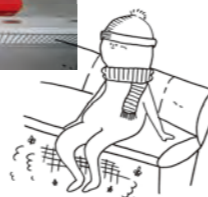


●冬期「座席下ヒーターの設置」

座席下に均等に設置したヒーターにより、どの位置に座っても暖かく、早朝の車内温度の上昇にも貢献します。



●ヒーター増設



「安全・安心の取組 2016」

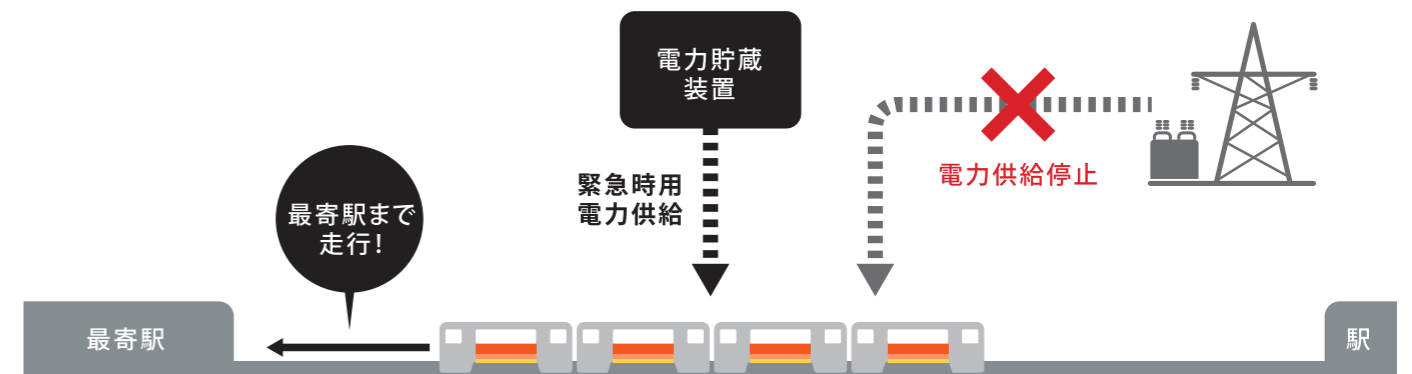
～お客様に安全・快適にご利用いただくために～

電力貯蔵装置の設置

多摩モノレールでは、お客様に「安全・安心」を提供するため、全線の中に位置する日野変電所に電力貯蔵装置を導入しました。 ※装置の運用開始：2016年7月

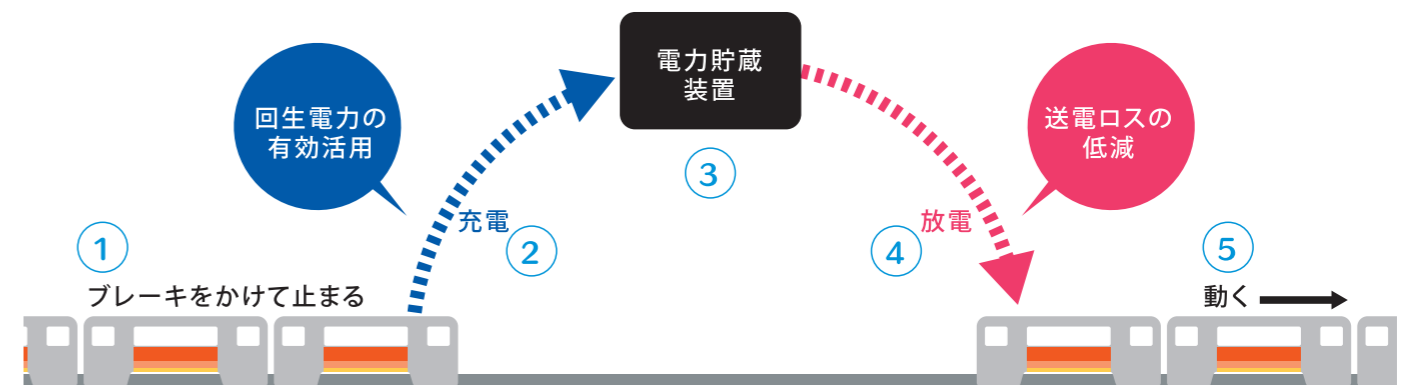
導入目的1 「非常時対策」

災害などにより、電力会社からの送電が停止して駅と駅間に電車が停止した場合は、最寄り駅まで列車を走行させるための電源として電力貯蔵装置から電力を供給することができます。



導入目的2 「省エネ」

電車が減速時に発生する回生ブレーキのエネルギーを蓄え、この電力を必要な時に放電します。これにより、電力を有効活用できるため、省エネとなります。



「回生ブレーキ」とは? ブレーキをかけた際に発生するエネルギーを電気に変換し、その電気を電線に戻して他の電車で使えるようにする仕組み。

冬でも
安心!

雪に強いモノレールを目指して!



こうけた 鋼桁ヒーターの設置

設置前

降雪時、軌道桁のうち金属性の桁（鋼桁）に雪が積もってしまうとタイヤが滑り、登坂不能に。

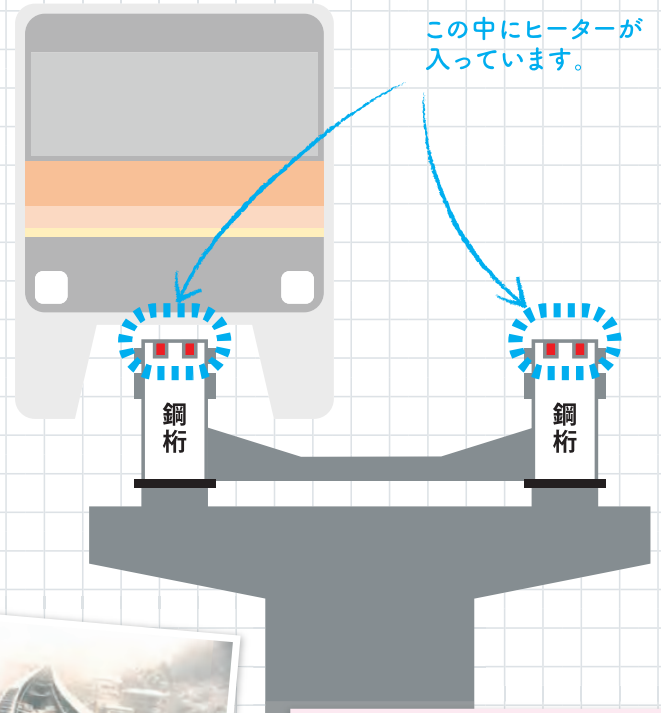
↓
運行に遅延が発生し、お客様にご迷惑をおかけしていました。

設置後

鋼桁に積もった雪を溶かすことが可能に。

↓
降雪時もモノレールが上り坂を走行できるようになり運行への影響を減少。

↓
安心してご利用いただけるようになりました!



2014年の大雪の際も鋼桁には雪が積もりませんでした。

急な上り勾配の場所に設置しています!

ヒーター設置箇所

- 程久保～多摩動物公園間
- 大塚・中央大学・帝京大学～明星大学間

多摩モノレールでは、Twitterで運行状況をいち早くお客様にお知らせしています。また、イベント情報なども発信しています。



たまもの 増刊号 vol.3
2016年8月

発行
多摩都市モノレール株式会社
総務部事業課
〒190-0015
東京都立川市泉町 1078-92
TEL 042-526-7818
多摩モノレール 検索

企画
株式会社けやき出版
編集長
小崎奈央子
編集
一楽まどか

デザイン
中村沙蘭
印刷
株式会社サンニチ印刷

多摩モノレール情報

遅延証明書の発行について

多摩モノレールで遅延が発生した場合、当社ホームページより遅延証明書を取得することができます。



こちらをクリック!

● 遅延証明書のご利用にあたって

- 発行対象時間：始発～終電
- 発行対象遅延時間：運行が概ね10分以上遅れた場合
- 証明書の掲載時間帯：①「始発～10時」（10時以降に掲載）②「10時～17時」（17時以降に掲載）③「17時～終電」（翌日9時以降に掲載）
(運行状況などにより、掲載時刻が前後することがあります)
- 実際の運行状況と遅延証明書の遅延時間が異なる場合があります。
- 提出期間：遅延発生日～7日間
- 多摩モノレールで発生した最大の遅延時間を証明するものであり、個々の列車の遅延時間を証明するものではありません。また、お客様がご乗車されたことを証明するものではありません。
- 当社列車の遅延のみを証明するものであり、遅延によりお客様に生じた損害等を賠償することを証明するものではありません。

※遅延証明書に関する情報は2016年現在のものです。